

「人生会議の日」に向けた大阪府の取組等について

大阪府では、令和5年度に『いのち輝く人生のため「人生会議」を推進する条例』を施行し、更なる府民に向けた普及啓発と人生会議の実践につなげるための取組を実施している。しかし、令和5年度に実施した人生会議に関する認知度調査では、人生会議を知っていた方が11.1%と府民の関心の低さが分かっている。この調査を踏まえ、「第8次大阪府医療計画」（令和6年3月）においては、人生会議に関する認知度を計画期間中に20%とする目標値を掲げており、今年度も引き続き、人生会議の府民の認知度向上に向けた新たな取組を推進している。

「人生会議の日（11月30日）」に向けた取組

【府民向けイベントを開催】

「人生会議の日」の前日である11月29日（土）に、「人生会議」を知ってもらい、実践いただくためのイベントをJR大阪駅構内で開催

○イベントの概要

（令和7年11月29日（土）13時30分～16時00分、大阪ステーションシティ 5階 時空の広場で開催）

☞テーマ：「今のうちに、ゆるっと人生会議」

☞第1部 FM802 UPBEAT!公開収録

・DJ加藤真樹子さんとゲストアーティストが音楽や暮らしで大切にしていることを語りながら人生会議について考えるきっかけをお届けします。

第2部 アキナ山名文和さん・宇都宮まきさんと考える ～みんな人生会議～

・アキナ山名さん、宇都宮まきさん夫妻を招き自身の体験談、専門家のアドバイスを交えた人生会議に関するトークを行います。

※詳細はこちら☞ <https://www.pref.osaka.lg.jp/o100020/iryozaitaku/acp-zinseikaigi.html>

【啓発作品コンテスト】

人生会議での取組で実施する大切な「対話」の価値を表現した作品を募集。優秀作品は、人生会議を広く府民の皆さんに周知啓発するために府が作成するチラシ、動画、HP、SNSの広報などで活用予定

<募集期間：令和7年9月8日から10月31日>

※詳細は以下のURLより確認してください

☞<https://financial.jiji.com/osaka-acp-contest/>

市町村等への取組支援

○市町村への支援：開催費用の補助（講師謝礼、旅費、会場費等）

補助金申請状況：7市町／2次募集中（10月31日まで）

※大阪府のHPでも市町村のイベントを周知

※各市町村の実施例を次のページで紹介

○他団体を含め、講師等の調整、啓発資材の提供を実施中

○訪問看護師等対象に、人生会議の実践人材育成研修を実施中

研修開催予定一覧 ☞ <https://daihoukan.or.jp/seminar/41182/>

ACPを踏まえた高齢者救急に関する取組

○令和7年3月に府としての「人生会議（ACP）に基づく心肺蘇生等を望まない心肺停止傷病者に対する救急隊の活動要領」を策定し、地域のMC協議会や医師会など関係機関に周知。

令和7年度からは各地域のMC協議会で順次検討等を実施。

既存の活動要領等を引き続き運用や、府の活動要領をベースに今後作成など、地域によって状況は異なるものの、府域全体で検討が開始。

○高齢者施設等における人生会議（ACP）のさらなる普及啓発と、患者の情報を共有するシートの普及を図るため、福祉部と連携し、施設の集団指導等において説明。

ACP普及啓発支援事業の事例紹介

ACP普及啓発支援事業に関して事例を紹介します。

(1) 補助自治体: 大阪市

○研修形式: 講義、体験、グループディスカッション

○研修テーマと目的及び主な内容:

VRを活用し、主に「救急医療における心肺蘇生」「生きとし生けるもの(看取りのドキュメンタリー)」の2つのテーマについてVRによる体験型研修及びグループワークを実施。

○受講者数: 99名

(2) 補助自治体: 豊中市

○研修形式: 講義、体験、対談

○研修テーマと目的及び主な内容:

エンディングゲームの体験、ACPとは何か・なぜ重要なのか等についての講義、ACPに関することについての対談を実施。

○受講者数: 22名

(3) 補助自治体: 田尻町

○研修形式: 講義、体験

○研修テーマと目的及び主な内容:

創作落語「天国からの手紙」の講演、在宅医療・介護、人生会議について講演、もしばなゲームを実施。

○受講者数: 73名



豊中市:エンディングゲーム体験の様子